

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あかり

目標達成計画

作成日: 平成 31 年 4 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	「心で通じる共想いケア」の理念を再認識し、利用者と共に歩む認知症の方への本人尊重、本人本位の支援に努める。	あかり理念を掲げている仕事ブックを参考に運営方針、行動指針を周知し実践につなげ、より良いケアにつなげる。	12ヶ月
2	26	チームで作る介護計画とモニタリング	計画作成担当者と共に介護計画の内容を共有し本人の思いや家族の思いを取り入れ、スタッフ間、意見、提案、振り返りを行う。	介護計画は、3ヶ月から6ヶ月での見直しがあるが利用者の変化等を見直しにつなげ、計画作成担当者と共にモニタリング、評価を行っていく。	12ヶ月
3	43	排泄の自立支援	それぞれの排泄パターンを把握しパット内に排尿される前に声かけ、トイレ誘導を行う。	排尿された時間を把握しながら、スタッフ間連携を取り、パット内で排尿される前にトイレで排尿出来るように努める。	12ヶ月
4	6	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束等の適正化の為の指針を職員間で周知し身体拘束ゼロを目指していく。	運営推進会議で「身体拘束等適正化委員会」を行う。ミーティング等を通じてスタッフ間、身体拘束ゼロを目指した検討、意見交換を行っていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。